

平成26年度第4回草加市みんなでまちづくり会議

議 事 録

1 開催日時

平成27年1月28日（水）午後7時から午後8時50分

2 開催場所

草加市文化会館 第1会議室

3 出席者の氏名

(1) 登録員 16名

(2) 事務局 みんなでまちづくり課：山岡課長、山崎課長補佐、巖上主任、亀山主任
井上主事、木村主事、二見主事

市民活動センター：藤倉所長、細野主事

4 会議の議題

みんなでまちづくり会議の進め方について

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者数

0人

7 会議の内容

別紙議事録のとおり

8 議事録署名人

押切次夫登録員、服部満生子登録員

平成26年度第4回草加市みんなでまちづくり会議 議 事 録

【実施日時】 平成27年1月28日（水）午後7時～午後8時50分

【実施場所】 草加市文化会館 第1会議室

【出席者】 まちづくり登録員：16名、傍聴者：0名

事務局：みんなでまちづくり課（山岡課長、山崎課長補佐、巖上主任、亀山主任
井上主事、木村主事、二見主事）

市民活動センター（藤倉所長、細野主事）

1. 開 会

2. 議 事

<議題>

みんなでまちづくり会議の進め方について

3. 閉 会

【議事内容】

-開会-	
【事務局】 (山崎課長補佐)	皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、平成26年度第4回草加市みんなでまちづくり会議を開催します。本日司会を務めるのは、みんなでまちづくり課課長補佐の山崎です。よろしくお願いいたします。初めに、事務局のみんなでまちづくり課課長、山岡よりご挨拶申し上げます。
【事務局】 (山岡課長)	【挨拶】
【事務局】 (山崎課長補佐)	【資料確認】 《配布資料》 ①次第 ②資料「草加市みんなでまちづくり会議応募テーマ一覧」
-署名人の決定-	会議開催に当たり議事録の署名人を2名決定します。本日は、押切次夫様、服部満生子様をお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。 押切様、服部様、よろしくお願いいたします。
-議事-	本日の議題は「みんなでまちづくり会議の進め方について」です。昨年10月より登録員の皆さまからみんなでまちづくり会議で話し合うテーマを募集したところ、一覧にあるとおり5件ご応募いただきました。次回、4月に開催するみんなでまちづくり会議からは、このテーマに沿

<p>【登録員A】</p>	<p>う形で会議を進めていきたいと思ひます。そこで、本日はこの5件のテーマについてどのように話し合ひを進めていくか意見交換をしていただきたいと思ひます。</p> <p>初めに、テーマをご応募いただいた登録員からご説明をいただきたいと思ひます。本日、テーマ①②をご応募いただいた登録員は欠席です。テーマ③に関しては、ご応募いただいた方のお名前がありませんでした。本日お集まりの方の中で、提案した方がいらっしゃればご説明を願ひたいのですが。</p> <p>いらっしゃらないようなので、テーマ①②③については事務局で代読をいたします。それでは、テーマ④「地域コミュニティの再生－安全・安心して暮らせるまちづくり－」について説明をお願いします。</p> <p>私のテーマは、「地域コミュニティの再生－安全・安心して暮らせるまちづくり－」です。少子高齢化社会の進行ということで、今まで一生懸命働いてきた団塊世代がこれからはお荷物という受け止められ方になります。たまたま私も団塊世代に属しております。昨日も認知症の関係で政府が新しい政策を発表しましたが、団塊世代が少なくとも社会のお荷物にならないようにするためにはどうしたらいいのかと考へ、提案させていただきました。テーマ①②③と若干重複するかもしれませんが、提案の趣旨をご理解いただければと思ひます。</p> <p>提案の趣旨ですが、キーワードは“安心と安全な暮らし”で、一番の問題点は少子高齢化の進行により公助・共助・自助の仕組みが崩壊してきていることです。新聞やテレビ等でも報じられていますが、地域コミュニティを再生或いは構築することが喫緊の課題ではないかということです。</p> <p>二番目として、防災や防犯、健康福祉や社会保障の問題から、安心・安全なまちづくりが求められているのではないかということです。</p> <p>三番目として、団塊世代として大量退職している人が65歳以上となっており、これからは負の遺産となります。それを少しでも和らげるためにはどうしたらいいのか。そのような観点からキーワードを安心と安全な暮らしと考へました。このような施策は国や県が方針を決めるべきだと思いますが、市民レベルで取り組みが可能なものがあるのではないかと考へました。</p> <p>草加市では、総合振興計画や都市計画マスタープランを策定しており、そのような施策とどのように関係づけて進めていくのかを事務局からご説明いただこうと思ひます。それから現状を踏まえて、日本の自治体すべてが税収の減少、社会資本の老朽化、それからニーズの多様化といった問題があり、なかなか共助の体制が作りにくいと感じております。そのこともあり、自助も少子高齢化で難しい、共助もかなり崩壊しており、公助、共助、自助の役割を決めて見直しが必要ではないかと考</p>
---------------	---

えております。そのためには、地域資源をどのように見直したらいいかと考えました。この文化会館や公民館などの地域資源が老朽化して使いにくくなっているのでは、見直しも必要ではないでしょうか。それから民間部門、こちらにいらっしゃる方や各種団体などの民間のNGOを含めて地域資源をどのように見直して再構築していったらいいか。そういうことを考えました。

また、民間の団体にもいろいろありますが、文化団体や体育団体といった団体の見直しを行い、できれば高齢者に結び付けていけるような施策が必要ではないでしょうか。例えば、コーディネーターなどの役割も団塊世代の人たちに担ってもらったらどうでしょうか。具体的にはまだプランニングできていませんが、そのようなことも公助を助ける、或いは自助を助けるものとして考えていけたらと思っております。

また、具体的に進めていくためには、各自治体が行っている様々な取り組みを参考にしながら、いいところは取り入れていくこともいいのではないのでしょうか。

あとはネットワーク化です。これからはIT化にも力を入れて民間とシェアする。そのようなところにつなげていけるような施策も必要ではないかと思っています。まずは、できることがあれば、WGの役割ももっていったらいいのではないのでしょうか。抽象的ですが、提案の趣旨としてはこのようなことで考えております。

【事務局】
(山崎課長補佐)

ありがとうございました。テーマ⑤「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」について説明をお願いします。

【登録員B】

「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」ですが、現実問題として、今皆さんがいらっしゃるこの文化会館は、埼玉県の施設として40年以上前に埼玉県草加文化会館としてスタートしました。その頃は結婚式場が非常に不足しており、市民が結婚式や披露宴を挙げられる場所として、1階のレセプションルームが非常に人気で混んでいました。そこで、もともと2階建てだった建物に3階を作って披露宴会場としました。今は会議室という名前になっていますが、パーティーができる作りになっています。その歴史を踏まえて、40年経っているわけです。例えば、お年寄りの方で、足の悪い方がこの3階に来るのに、エレベーターはないですかとよく言われますが、エレベーターは2階までしかありません。なぜかと言うと、ご説明しましたように、この建物はもともと2階建てだったのでエレベーターは3階までないのです。そうすると、非常に使いにくいことがございます。

同じように、草加市の中央公民館も40年以上経過してだいぶ古くなっています。草加市の体育館も同じです。谷塚にスポーツ健康都市記念体育館というすばらしい施設ができましたが、こちらも老朽化していま

す。

テーマ④でも施設の老朽化とおっしゃっていたので、私の提案は、テーマ④「地域コミュニティの再生－安全・安心して暮らせるまちづくり」の中の、特に一部分を強調して提案したととらえていただいていると思います。

東日本大震災という大きな災害では、幸い文化会館は大きな被害がありませんでしたが、やはり耐震性の問題には心配があります。草加市役所でも耐震性の問題から、第2庁舎をまず建て替えて、そこに本庁舎の機能に移して本庁舎を建て替えます。本庁舎も相当耐震性に問題があると伺っていますので、市役所も安全に使えるように建て直すということです。これは当然やらなければいけないことですが、文化会館、中央公民館、体育館等の施設も同じように耐震性と安全性に問題があるのではないかと思います。

それから、躯体がしっかりしていても、電気設備、水道設備、給排水、衛生設備などがだんだん壊れてきて、修繕費がかなり増えていくのではないかと思います。先日、草加ふささら祭りが草加松原で開催された時に、この文化会館も会場としてたくさんの方がお手洗いを使いました。そうしたら、下水がつまって逆流してきたのです。すぐに地元の業者に下水管をみてもらったら、木の根が伸びて下水管に詰まり、流れなかったことが分かりました。

そのことも含めて、根本的に解決しなければいけないことがたくさんでてきているので、建て直しをしなければいけないのではないのでしょうか。これは文化会館に限ったことではありません。修繕費の支出は、草加市の施設ですから市民の税金を使って行わなければいけません。これは大きな問題です。

それから、利用する市民の利便性です。先程言ったように、この3階の会議室に来るのに足が悪い方は非常に困難を伴うということです。いずれにしても40年経ちますから、いつかは建て直しの時期がくると思います。ここのところで第四次草加市総合振興計画や都市計画マスタープランの話がでていきますので、ぜひそのようなことを市民サイドからも考えていったらいいのではないのでしょうか。もちろん、お金を出してハード面をつくるのは行政ですが、私の持論で「まちづくりは人づくり」だと思っています。まちをつくらうという人の気持ち、まちを愛する人の心が集まって初めてハード面のまちづくりができます。みんなでまちづくり会議で皆さんの心を集めて、どのようなハード面のまちづくりができるのかを検討することがこの会議の一つの目的だと思います。

では、どのような設備をつくったらいいのでしょうか。文化会館や中央公民館、体育館その他いろんなスポーツ施設がありますが、それぞれを別々につくるよりも、足立区役所や文京区役所のような複合施設で、ワンストップサービスができる施設をつくる。そこに行けば

	<p>いろいろなことができます。消防や警察のこともできるとか、そういったものを複合的に収容できる建物をつくるのが理想だと思います。多機能なコンプレックスビルを作ることができれば、利用する市民の安全性を確保できます。草加市の支出費用についても合理性がでてきます。また、利用する方も快適に利用できると考えます。</p> <p>提案にすると、どのような機能がその建物に充てられるか。つまり、文化会館・中央公民館・体育館や商工会館などのように、建物にどのような機能を与えるのがいいのかということも含めて、建築場所はどこにしたらいいのか、何十億円かかるのだろうかなどをみんなでまちづくり会議の皆さんの知恵を集めて検討して実現に向けて提言すれば、大変すばらしい意義があることだと思って提案をさせていただきました。</p>
<p>【事務局】 (山崎課長補佐)</p>	<p>ありがとうございました。それでは、テーマ①から③に関しては、事務局が代読いたします。</p> <p>【「資料：みんなでまちづくり会議の進め方について」テーマ①～③】 以上でご報告とさせていただきます。なお、テーマの順番ですが、受付順で振らせていただきました。</p> <p>それでは、ご応募いただいた5つのテーマの取り組み方について、ご意見がある方はいらっしゃいますか。</p> <p>意見がないようなので、事務局で2つの案を作りました。</p> <p>【事務局案：A案 テーマごとにグループ（分科会のようなもの）に分かれて話し合う。B案 全体で1つのテーマについて話し合う。】</p> <p>事務局案をきっかけにして、どういう形が良いか話し合っただければと思います。</p>
<p>【登録員B】</p>	<p>例えばA案ですと、分科会のようなものに分かれて話すということですが、本日の参加者は15名くらいです。15名が5つに分かれて3人で話しても、充実しないのではないかという気がします。ですから、全体で1つか2つ、2時間あったら1時間ずつなどで集中して意見を出してもらった方がいいと思います。</p>
<p>【事務局】 (山崎課長補佐)</p>	<p>ありがとうございます。確かに、もしA案でやるのであれば、興味や関心がある方が集まってより深い話し合いができるというメリットがある反面、お話しいただいたようにこの会議に集まるのが20名から30名であり、また、初めて来た方がどこに入ればいいのかなど、難しい面もあると思います。</p>
<p>【登録員C】</p>	<p>今、[登録員B]がおっしゃったことはその通りで、あまり少ない人数で分科会に分かれると、興味がある人だけが集まる話し合いになるの</p>

で、違う意見が出ないということがあります。この人数だったら一緒に話してもいいと思います。

もう一つは、この話し合いの着地点というか、例えばテーマ⑤についてここで話し合っ、建て替えなければいけない時期に向けてどういったものが必要なかをまとめたものが実現につながるのかということです。例えば、テーマ①は1度提案されたものを再度提案していただいたものです。前は草加市に子どもの権利条例をつくるための話し合いの場を設けて欲しいという提案をみんなでまちづくり会議で5年越しでやってきた段階で、子どもの権利という問題はまだ市民的合意が得られていないので、とりあえずこの問題は中止にするということになりました。今回、大人も子どももという観点を入れてご提案いただいたのですが、例えばここで話し合っ、人権条例が必要だよ、作ろうよとなった時に、前回のみんなでまちづくり会議では草加市の検討の中で時期尚早と回答があった事実があります。だから、着地点が見えないとどのような話し合いを進めていけるかが見えてこない、この話し合いが持つ意義やこれをどう生かそうとしているのかということをもまずは事務局からきちんとお話しただかないと不安です。

【事務局】
(山岡課長)

この会議の意義と話し合いの結果がどのように発展するかについてのご質問ですが、以前、条例の検証を行った際に、みんなでまちづくり会議は市民同士の話し合いの場であるべきであると報告がされています。みんなでまちづくり会議は提案があった時にだけ設けられる場ではないという考えから、定期開催をしていく必要があるという考えに立っています。運用制度の検討を行う中で、市民同士の話し合いの場という新たな機能を加えて定期開催をしていくことでテーマ出しをお願いしているところです。以前お配りした資料の中で、「気づき」や「情報交換」という言葉を書かせていただきました。会議に参加することで、自分が活動している中で日ごろ交流のある人たち以外の方と意見を交わすことにより、他の団体ではこのように取り組んでいるのかという気づきや、自分の団体はこの問題をこのように捉えてこのように対処しているが、他の団体はどうか、といった情報交換ができればいいと思っています。

更に、皆さんが考えていることや思いをみんなでまちづくり会議の中で他の市民に話した時に、どのように受け止めてもらえるのかといった情報を得られる場として、自分で考えていなかった、予想もしていなかった意見に触れるという意味で気づきの場になるような、賛成・反対入り混じっての意見交換がされればよいと考えています。最終的には、みんなでまちづくり会議の場での話し合いから市民同士が結びついて、何かに取り組もうという動きにつながればよいと考えています。

この会議で話し合った結果、いろんな意見の方がいる中で難しい部分

があるのかもしれないという気づきがあったり、市民同士が話し合っ
て意見をまとめ、市民の大きな流れになれば政策実現に向かっていける
という考えの中で、市民の活動につながっていく一つの発着点になれば
いいと考えています。

【事務局】
(山崎課長補佐)
【登録員C】

いかがですか。

気づきやネットワークやつながりはみんなでまちづくり会議の場の一
つの役割であり、市民同士の話し合いが目的ですが、会議で一つの提案
にまとめたものを市に提出して、市がそれを検討した上で政策に反映
するかしないかの判断を返すことになっています。そこで政策に反映す
ると判断が出た時は、市も一緒になり実現に向かっていくという役割も
そうですが、みんなでまちづくり会議は市民が提案できる場であるとい
うことが一番大切だと思います。そこにつながるために、さまざまな市
民と話をする中で共感を得たり、気づいたことをみんなも思っているか
ら、みんなの提案としてまとめ上げていける場があると提案が増えるの
ではないかということでした。

みんなでまちづくり自治基本条例を見直す中で、提案がなくても会議
を開催し、市民同士の意見交換や自分の知らない人との出会いの場、同
じような思いをもっている市民が自分たちの周りにはいるのだというこ
とを確認した上で一緒に進めていくことを話す場が必要だということ
でこの役割が加わったと思います。

そもそものみんなでまちづくり会議は、市民が直接提案を述べられる
場であること、その提案に関して市のさまざまな施策に基づき検討した
上で、それはやる価値がある、市としてやれるかやれないかということ
をきちんと検討して答えていく場であることが大事です。提案があつた
場合には、きちんと検討して市と市民が一緒になって実現できるように
考えていくということや、ただ判断をすればいいのではなく、反映する
よう求めた場合にはきちんと反映させていく道筋を行政の責任として考
えていくと言っていたかかないと、少し腑に落ちないと感じます。

【事務局】
(山岡課長)

政策に反映するという検討結果については一緒にやるということ
です。市と市民が一緒に提案を実現していこうということです。皆さんの
議論の中で提案があり、市はそれを市政に反映すると判断した際は、実
現に向けて動いていきます。みんなでまちづくり自治基本条例の規定に
基づいて進めていますので、それが基本スタンスという理解でよろしい
かと思います。

【登録員A】

私も最初にお聞きしようと思ったことが2つあります。1つは、総合振
興計画や都市計画マスタープランとみんなでまちづくり会議の位置付け

についてです。2つ目は、今いくつかテーマがでていますが、テーマについての話し合いの期限を区切って報告などを行うのか、もし方向が出た時にはフィードバックして提案にもっていけるのかどうかということです。そこが曖昧なまま意見を聞きました。こういう意見が出ましたと報告をしてそれで終わってしまうことは、いろんな自治体を見ていますと結構多いです。行政に報告をしましたが、それは反映できませんでしたというのではほとんど意味がないし、その辺りをしっかりと受け止めた上でやっていければと思っています。

【事務局】
(山岡課長)

草加市では次期草加市総合振興計画と都市計画マスタープランという2つの大きな計画を検討しています。その中で、総合振興計画を考える上で、みんなでまちづくり自治基本条例は草加市の最高規範として位置づけられておりますので、基本理念として自治基本条例をトップに据えたまちづくりを進めることになっています。

条例に規定していることは、市民がまちづくり計画を提案することができること、そして市は提案があった場合に市政に反映するかどうかを検討して反映結果を公表することです。市政に反映するということは、事業化をして市と市民が一緒に進めていくことです。提案があったら市政に反映するように努めますが、どんなにいい提案でも反映できることとできないことがあり、この会議で提案されたものが必ず市政に反映されるということはいえませんが、そういう性質のものではないということをご理解いただきたいと思います。

ただ、もう少し工夫をしたり、一緒に取り組むともっとよくなる提案があると思います。そういう部分を踏まえて、提案があった場合にはそれぞれの担当課に会議に出席してもらい、会議の中で意見交換を行って、市としての考え方を整理します。みんなでまちづくり会議の場で議論・意見・提案があり、担当課としてこのように整理をしましたがいかがですかと必ず市長まで報告する中で判断をしていきます。その上で、市政への反映結果を会議の場で返していくという庁内のプロセスがありますので、市政に反映すると判断したことについては実行していくことはお約束できます。

【登録員D】

市民が言えば役所がすぐに動いてそれを実行するかというと、なかなか難しいです。私が初めてこの会議に出席した理由は、役所が第4次草加市総合振興計画をまとめており、先日、草加市の5年後、10年後の在り方についてきちんと骨格を作っていくのだという説明会があり、そこに出させていただきます。草加市は11分野を中心に、5年後、10年後のいいまちを作っていくという提案がありました。しかし、なかなかいいことを言っているなという部分と、ちょっと足りないところがあると感じる部分がありました。市民がしっかりしていけないと、もしかした

ら危ないところがあるかもしれないと感じたので、本日は勉強させていただきたいという意味で出させていただきますました。

かつて江戸時代に草加宿の中心にあった大川家の建物が草加からなくなって、大利根町に立ち上がったということを知っている人は知っていますよね。あれは草加にとって象徴的な宝なのです。それが市議会や行政に任せておいたら、他の町に立ち上がってしまいました。24万都市のこの草加市は大川家のお屋敷を復元できなかったのです。役所に任せておくと、このようになってしまうのか、今でも私は20年前の行政の判断は間違っていたと強く感じています。

先日、第4次草加市総合振興計画について役所から11項目の提案があったので目を通したところ、残念ながら草加らしさが感じられませんでした。このまちの歴史や文化をしっかりととらえながら、特色のあるいいまちにしていこうという提案ではありませんでした。そこが欠落しています。ですから、このような場に出席し、草加の市民や行政がどんなことを話し合っているのか、行政の考えを聞かせてもらいたいという気持ちで参加させていただきました。

結論を言いますが、市役所から第4次草加市総合振興計画が11項目でています。今日皆さんから出していただいたテーマは5つありますが、全て11項目のどこかに含まれるのです。市役所が11項目についてやろうとしていて、この11項目の中に5つのテーマが入っています。例えば、テーマ②④⑤は第4次草加市総合振興計画の5番に入っています。そして、テーマ⑤が7番に、テーマ①は9番に入っています。全部がこの11項目の中に入っているのです。つまり、草加市がこういうまちにしたいというのは、お隣の越谷市や八潮市でも通用するようないい計画なのです。ですから、この5つのテーマで一生懸命話し合いをすることは、市がこれからやっていこうとする11項目の中の一部なのです。だから、もう少し視点を変えて、11項目についてもう一度目を通して話をしながら優先順位をつけていったらいいと思います。結論を出すのを半年先にするのか1年後にするのかきちんとした見通しも考えて、話し合いの順番をつくっていくといいと思います。つまり、市から提案されているものはよく目を通し、私たちが出している5つのテーマを当てはめてみて、どれから話し合っていくかを決めていった方がいいと思います。

【事務局】
(山崎課長補佐)

ありがとうございました。今のご意見は、事務局案の前段階の話ですね。例えば、全体で一つのテーマについて話し合うといった場合でも、順番をどのようにつけていくかを皆で考えてからではないのかという趣旨でよろしいですか。

非常に難しいところで、この会議はしっかりとした位置付けにあって、日ごろ個別で取り組まれているだけではなく、熱意があって集まっている皆さんとともにいろいろ考えていく会議なのですが、なかなか前

	<p>に進んでいません。定例会という形だと3か月に1度しか開催されませんので、少なくとも次はどのようなテーマで話し合うのかが見えないと、皆さんもなかなか本当の話し合いができないと思います。登録員の皆さんから5つテーマを出していただいたので、これについての結論がどうかという着地点が見えれば一番いいのですが、まず一步前に出てみるということを考えれば、やはり次回からどのように進めていくかということを決めたいと思うのですがいかがでしょうか。</p>
<p>【登録員 E】</p>	<p>私はこの会議に出て今日で4回目です。みんなで話し合うだけでとてもいいお話がたくさんでてくるのですが、それが希望につながることはない、やはりお話はお話だけで終わってしまうような気がして、来るのが億劫になります。やはり何か皆さんが一生懸命考えたことをお話しし合うのだから、希望につなぎたいと思います。</p>
<p>【事務局】 (山崎課長補佐)</p>	<p>ありがとうございます。着地点としていい方法があればいいのですが、見つからないまま今年度の会議も今回で終わりになります。本日は5つのテーマを応募していただいた方のうち3人が欠席で、直接お話を聞けなかったということがありますが、A案とB案という形で事務局案を出しており、例えばA案だったらこうやっていったらいいよねとか、B案だったらこんなふうにやっていけたらいいなということがあると思います。次回の会議の進め方を決めて終わりたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>【登録員 F】</p>	<p>この次の会議では、このテーマについて話をしようと思わずに4つも5つものテーマを皆が一斉に話しても、何も決まらずにただ時間が過ぎてしまうだけだと思います。みんなでまちづくり会議の中で皆さんの提案が実現したものや、行政が実現に向けて取り組んできたものはどのくらいあるのでしょうか。</p>
<p>【事務局】 (山岡課長)</p>	<p>みんなでまちづくり自治基本条例が施行されてから今までで、提案があったのは4件です。1つ目は、「ふれあい通り親水緑道計画」として、未整備の水路を親水緑道化して地域の魅力ある場所にしたい、維持管理は住民が分担して行うので一緒に事業化したいという提案です。既に整備は終わっており、実現したという形になります。</p> <p>2つ目は、「瀬崎蒲原公園再生プラン」として、既存の公園をより親しまれる公園にとの住民発意で、地元の人たちが考えるような使い勝手ができる広場的なものにしたいという提案がありました。こちらもリニューアルする部分の計画や日常清掃などは地域で行うこととして事業化を行い実現に至っております。</p> <p>3つ目は、自治基本条例の関係です。「みんなでまちづくり会議を活</p>

	<p>性化するためには」という提案をいただいております。現状の課題を把握する中で、検証を行う組織を設置し、会議の活性化を図るために検証を行いました。これは、条例の中に位置づけられている5年ごとの検証につながって、新たな運用制度としてこれまで提案があった時しか開催されなかったみんなでまちづくり会議を定期開催していくことにいきついております。</p> <p>4つ目は、「子どもにやさしいまちづくりをすすめるために、草加市に子どもの権利に関する条例を制定すること」という提案がありました。</p> <p>つくっていくために市民の話し合いの場を設けて欲しいという提案です。</p> <p>今、お話がありましたが、子どもにやさしい権利条例をつくっていくための市民の話し合いの場を設けるという提案については、条例の必要性についてまだ議論が十分されてない中で、市は子育て支援の政策、次世代育成支援行動計画などの取組みをより一層進める中で取り組んでいくということで、条例という形はとらずに対応したいという市の検証結果を返しました。これは、条例といった形になっていないということ で・・・</p> <p>条例をつくってくださいという提案ではなかったです。条例が必要なのかどうかを話し合う、市民の話し合いの場を設けて欲しいという提案をしたのです。ここは基本で大事なところですよ。条例をつくってくださいというのは難しいかもしれませんが、条例が必要かどうかを話し合う場を設けてくださいというのは基本的に違いますよね。</p> <p>4件の提案があり、お話ししたような反映結果になっています。</p> <p>今年度、4回開催された会議うち3回に出席しております。最初からみんなでまちづくりという趣旨、話し合いを全然していないのです。全部入口論です。それで今日もテーマが5つでした。これは事前にいただきました。でも、この中のどれを話すのだろう。全部話し合いできないと最初から思っています。案の定、入口論。申し訳ございませんが逆に言えばこれでは来る意味がないです。</p> <p>みんなでまちづくり会議で話し合うテーマについては、事務局で一方的に決めることができないと考えており、登録員の皆さまからテーマを募集しました。今回、5つのテーマをご応募いただきましたが、1本に絞る必要があるのかということが一つ。それから、1本に絞らないのであ</p>
【登録員 C】	
【事務局】 (山岡課長)	
【登録員 C】	
【事務局】 (山岡課長)	
【登録員 G】	
【事務局】 (山岡課長)	

	<p>れば同時進行で進めるやり方もありますが、それだと1グループの人数が少ないという意見もありました。そこで、5つのテーマの中から次回の会議はこのテーマについて話し合うということを決めるのか、といった提案です。ご応募いただいた5つのテーマを話し合う順番は、事務局が一方的に決めるのではなく、皆さんの意見を聞いた上で決めたいと思います。</p> <p>今までの議論の中で、分科会のような形に分かれることについては、人数的にも少なくても話が深くならない、興味がある人ばかりが集まって話し合うと違う意見がでないのではないかという意見がありましたが、全体で話し合うことに対しては特に否定的な意見はありませんでした。ここで皆さんにお伺いしたいのですが、4月に開催する会議の際は、分科会のような形に分かれるのではなく、グループ討議のようなものもあるかもしれませんが、共通のテーマで議論していただくということによってよろしいでしょうか。</p>
【登録員】	【賛成】
【登録員G】	<p>①から⑤までテーマがありますが、例えばテーマ②と④については町会・自治会、社協、民生委員や各種団体などと重複するので、例えばテーマ②と④と一緒に議論するという事はできないのでしょうか。</p>
【事務局】 (山岡課長)	<p>それはいい提案だと思います。ある程度まとめて同じ範疇に入ることによって皆さんにご了解をいただければ、同じ回で話し合いを進めることができると思っております。</p>
【登録員A】	<p>今のご提案はいい提案だと思います。私の提案にはテーマ③も入ります。健康で楽しさ溢れるエアの町、これは健康ということで、要するにこれから介護費用や医療費を軽減できるので、健康で長生きできる、健康寿命が長くなればなる程、社会保障費用を節減できますので、健康で明るいまちづくりができればいいのではないかと。そういったことと言えば、テーマ②も③も④も関連してくると思います。</p>
【事務局】 (山崎課長補佐)	<p>ありがとうございます。確かに、広い意味でのカテゴリーとしては同じ分野に入ると思います。本日、テーマ①から③に関してはご提案の方がいらっしゃる中で、それぞれ文字では読めない思いがあると思います。調整が可能であれば、そういった形で進めていけると思います。</p>
【登録員H】	<p>テーマ①を提案された方は、提案の内容をととても大事に思っていますので、今日いらっしゃるのにはよほどの事情があると思います。配布されているのはテーマ①を提案された方の文章です。長い間不登校に携</p>

	<p>わってきて、子どもの権利って守られてきたのかな、子どもの意見って聞いてきたのかな、とここに書いてありますので、ぜひ見ていただきたいと思います。</p>
<p>【登録員 C】</p>	<p>せっかく今日、ご説明をいただいたので、4月の会議からはテーマ④か⑤のどちらかを取り上げて話し合っていたらいいと思います。テーマ⑤はハード的なものを検討したいという部分ですよ。テーマ④についてはテーマ③と内容的に重複すると思うので、コミュニティの再生などをテーマとすると、2回は決まるのではないのでしょうか。</p> <p>コミュニティの再生で1回話し合い、総合的複合施設として建て替えるにはどのような機能を入れたらいいのかという疑問の出し合いを1回行います。次回とその次の会議のテーマを決めておき、会議開催の案内を広報に掲載する際にそのテーマを載せておけば、関心がある人が集まってくると思います。2つのテーマについて話し合っている間に、今日、テーマについてご説明がなかった方がお見えになったら説明していただくということにはいかがでしょうか。</p>
<p>【事務局】 (山崎課長補佐)</p>	<p>ありがとうございます。私も本日ご説明いただいたお2人のテーマから取り組んでいくべきだと思っております。しかし、まちづくり登録員として140名の方に登録していただいております、会議の開催は全ての方にご案内しておりますが、出席いただいている方は多くて30名位です。ご欠席の方が100名以上いらっしゃるの、登録員全員にこの5つのテーマの中からどれをやりたいかを伺った上で、次回までに順番を決めて皆さんにお知らせするというのはいかがでしょうか。</p>
<p>【登録員 B】</p>	<p>そんなことをやっていたら全然先に進みません。</p>
<p>【登録員 C】</p>	<p>今日、説明していただいた方のテーマで次回はやってみたらどうですか。</p>
<p>【登録員 B】</p>	<p>来ている人間を優先してください。</p>
<p>【事務局】 (山崎課長補佐)</p>	<p>先程お話ししましたように、事務局としては難しい立場もあります。</p>
<p>【登録員 C】</p>	<p>例えば、他の3名の方はお見えになって話したいと言った時に説明を伺う時間をとり、順次話していくということではいかがでしょうか。せっかく今日お話しいただいたのだから、それを優先することは皆さん賛成だと思うのですが。</p>
<p>【登録員】</p>	<p>【賛成】</p>

<p>【登録員 B】</p>	<p>この会議を今日やっていて、行政が話す時間が長すぎます。我々の意見を集めるためにやっているのでしょうか。行政の方はもちろん担当していて責任があるのは分かるのですが、もう少し我々の意見をうまく引き出して欲しいです。そうしないと、来る気がしなくなってしまう恐れがあります。140名の中でこれだけしか来ないのは異常ですよ。本当はテーマだって140件出てきてもいいくらいなのです。皆さんあまり期待できなくなっているのではないですか。非常に危険な状態だと思います。</p>
<p>【登録員 D】</p>	<p>この会議の進め方として、進行役を登録員の中から選出し、正面に座ってもらいます。行政からの返事が必要な時には行政に聞けばいいことです。私は、この会合そのものが小学校の学級代表委員会みたいだと思います。話し合うテーマが事前に分かっている、このことについて意見を言うてこようというような、もっと効率のよいやり方があると思います。そのようなところをきちっとやっていく必要があると思います。</p> <p>5つのテーマがありますが、第4次草加市総合振興計画の11項目のうち4項目に該当しています。この会議では、7項目については全然意識がありません。草加のまちをよくしていこうという時に役所が考えたのは11項目です。この会議で考えたのは4つしかありません。</p> <p>ですが、この会議で4つ考えているのだったら、第4次草加市総合振興計画を役所が出す前に、この会議ではこのテーマを最優先すべきだから最初にこれを話し合ってしまうというように、順番をきちんとつけて進めていく必要があると思います。せっかく皆さんで意見を出したのだから、安全・安心のまちづくりは第4次草加市総合振興計画の11項目の中では5番目ですが、皆さんの意見も多いからこれでやってみてはいかがでしょうか。7番目には美しく使いやすいまちづくりという項目があるのです。だから、役所が考えている骨組みに市民が合わせていい意見をどんどん言うていく。それを能率よく言うていかないと、役所だって受け止めづらと思います。</p>
<p>【事務局】 (山崎課長補佐)</p>	<p>ありがとうございました。進行役につきましては、これまでの会議の中でも、こちらからの投げかけも含めまして何度か話題になったことがあります。ただ、その時は当面は行政の方でやってくれないかという意見があつて今に至っておりますので、登録員の中からどなたかにやっただくことはこちらとしては全く拒むものではありません。そういう形でやっただけなのであれば、ぜひお願いしたいと思います。</p>
<p>【登録員 B】</p>	<p>条例に制約はないのですか。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>特にありません。</p>

(山崎課長補佐)	
【事務局】	
(山岡課長)	<p>運用に関する規則を改正した時に、事務局が委任できる形にしております。皆さん合意の上で、固定ではなくてもいいのですが、市民同士の話し合いの場なので市民の方が進行されるのが自然なのかというように思いながらも、まだ時期が早いというご意見もありまして、現状このようになっております。進行役を引き受けてくださる方がいらっしゃいましたら、この場でなくても結構ですので、立候補いただければと思います。事前に打ち合わせをさせていただき進めていきたいと考えておりますので、お申し出いただければと思います。</p>
【事務局】	
(山崎課長補佐)	<p>それでは、次回の進め方についてまとめますと、本日説明をしていただいたお二人のテーマから決めるということ、それから、テーマの優先順位を考えてからやるべきだということです。早い段階でテーマを決めれば進行役の件も含めて事前に準備ができますので、次回のテーマをこの場で決めたいのですが、いかがですか。</p>
【登録員 B】	<p>次回は4月の何日ですか。</p>
【事務局】	
(山崎課長補佐)	<p>次回は4月21日火曜日です。テーマは2つあります。どのように決めますか。多数決という方法もあります。</p>
【登録員 B】	<p>テーマ④を先にやった方がいいと思います。</p>
【事務局】	
(山崎課長補佐)	<p>ありがとうございます。それでは、次回はテーマ④について会議を開催したいと思いますがいかがでしょうか。</p>
【登録員】	<p>【賛成】</p>
【事務局】	
(山崎課長補佐)	<p>ありがとうございます。それでは、テーマ④をご応募いただいた登録員の方と次回の会議に向けた打ち合わせをしながら準備をしていきたいと思っております。恐縮ですがご協力をお願いいたします。</p>
【登録員 B】	<p>テーマ④の次はテーマ⑤をやり、提案者が進行役はできないので、4月21日の進行役はよろしければ私がやります。</p>
【事務局】	
(山崎課長補佐)	<p>ありがとうございます。皆さん、よろしいでしょうか。</p>
【登録員】	<p>【賛成】</p>
【登録員 D】	<p>第4次草加市総合振興計画の11項目のうち、安全で安心なまちづくり</p>

	<p>は5項目です。現在、行政が作っているまちづくりについての資料を、事前にみんなでまちづくり会議で配っていただきたいです。行政はこのように考えているのか。市民の立場からすると、もっとここに力を入れてやりたいというところを次回の話し合いの中でやっていきたいと思うのですがいかがでしょうか。</p>
<p>【事務局】 (山崎課長補佐)</p>	<p>次期草加市総合振興計画については、前回のみんなでまちづくり会議でも議題としましたが、他の会議の場でも皆さんからお話を伺っている最中です。まだ確定ではないので、どのような出し方ができるかこちらで検討させていただいた上でご提示させていただきたいと思います。</p>
<p>【登録員D】</p>	<p>はい。よろしくお願いします。</p>
<p>【事務局】 (山崎課長補佐)</p>	<p>ありがとうございます。他に何かございますか。</p>
<p>【登録員I】</p>	<p>40年以上草加に住んでいながら草加のことが分からないので参加してみようという考えで参加しました。みんなでまちづくりについての説明の中で、気づきだとか情報交換の場ということが出てきたのですが、これを聞いた時にあららと正直なところ思いました。聞いているうちに、自分がまず勉強不足だと。自治基本条例や11項目の第4次草加市総合振興計画に目を通さないで参加したことを非常に反省しているところで。政策や総合振興計画と市民の考えを結ぶ役割はここにはないのでしょうか。基本計画とわたしたちのまちづくりは全く別々に動こうとしていたのでしょうか。みんなでまちづくり会議が基本計画とまちづくりを結んでいく役割があると言っていたかとすっきりすると思います。</p>
<p>【登録員B】</p>	<p>前回、第4次草加市総合振興計画を議題として話し合いました。ワークショップをやって、皆さんの意見を付箋に書いてもらって市役所に出しました。もちろん全部というわけではないですが、それを活かしてもらうという約束でやりました。ですから、第4次草加市総合振興計画の11項目の問題については、前回ここで検討しているはずですが。その中で別にやりたいことは何ですかということで5つのテーマがでてきました。だから、意見を聞いてくれないわけではないけれど、言いつばなしでもないです。市民としてまちづくりのためにこういうことはどうしようということをみんなで話し合って、意見を行政に投げかけます。もちろん実現して欲しいけれど、言ったことを全部実現できるとは思っていないし、思っていないけれど言わなければ分からないし、せっかく言えるチャンスになったから意見をしましようということでこの会議をやっていると思っています。</p>

【登録員 I】	そのように言っていただけるとちょっと安心します。
【登録員 B】	時間がだいぶなくなってきましたが、まだ一言もしゃべってない方にマイクを回してはいかがですか。
【登録員 J】	話し合いについてですが、草加市の総合振興計画に基づいてやりますということではなくて、自由に話してもいいのですよね。
【事務局】 (山岡課長)	はいそうです。
【登録員 J】	あまりにも総合振興計画に沿って話すと、枠が小さくなってしまいます。だから、自由な発想でいろんな意見があった方がいいと思います。
【事務局】 (山岡課長)	<p>ありがとうございます。次期草加市総合振興計画が策定中ということで、足りない部分についても一度チェックしながら意見を出し合ったらいいのではないかという意見がありました。この会議は総合振興計画がない時も開いていきます。計画がどうなっているからではなく、日頃思っていることや問題意識を持っていること、或いは提案的なものについて話し合う場です。この会議の場ではそんなにとらわれなくてもいいと考えています。</p> <p>総合振興計画とみんなでまちづくり自治基本条例の関係としては、草加市が総合振興計画を定めるときは、市民の参画を進めながら行うことが条例に定められておりますが、常に総合振興計画でどうなっているから皆さんはどう思いますかということではないということをご理解いただければと思います。</p>
【登録員 K】	<p>基本計画はとても立派な文言があるのですが、実際にそれを運用することになると疑問に思うことがあるので、その辺の話をしていきたいと思います。計画を見るとすごく立派なのですが、魂が入ってないような文言だけで終わってしまう計画がたくさんあると思います。</p>
【登録員 L】	<p>初めて来られた人たちに、みんなでまちづくり自治基本条例についてきちんと説明された上でこの会議が成り立っているのでしょうか。できれば、新規で登録員になった方に書類を送る際には、自治基本条例の条文やもろもろの説明資料を必ず送ってあげていただけませんか。この会議の場は市民が意見を言う場だけではないと思うのです。そこをクリアしていかないと、なかなか話し合いの場につながっていかないとします。きっと、現実には話をして活発に進めていくことで、また参加者が増えていくような努力をしていくべきだと思います。そのような話し合い</p>

を4月からやっていけたらいいと思っています。

【事務局】
(山岡課長)
【登録員M】

条例関係の資料については検討させていただきます。

自治基本条例の資料については、皆さんにとりどころでお出しになるのではなく、基本として全部の説明をしていただきたいと色々な折に申し上げているのですが、なかなか機会がありません。第2回会議の資料としてこういった図がありますが、会議の資料を欠席した方に送っているのでしょうか。そこのところもはっきりしませんが、いずれにしても、みんなでまちづくり会議の場は総合振興計画や基本構想についていいか悪いかということを議論する場ではありません。それを議論する場としては、未来まちづくり市民会議というものがあり、広報にも何回か載りましたが、そちらが真剣に検討をしていますので、ぜひそちらに参加されるといいと思います。11項目のここがまだ足りないといったことを関心があるテーマごとに分かれて意見反映できる場があります。

この自治基本条例は、もともと市民の提案権を保障しています。気づきやつぶやき、思い、アイデア、一人一人のそういったものを、ただ一人がつぶやいたり思ったりしていたのでは住みやすいまちに反映できないので、それをいろんな方の共感を得たり、いろいろな方にもう少しこういうような考えで話し合っていたらいいのではないかというご意見をいただきながら、できるだけ提案につなげて市の施策に反映していただけるような場にしましょうというのがこのみんなでまちづくり会議ができたきっかけです。そういう場ですが、なかなかそこにうまくたどりつかないまま5・6年が過ぎています。

以前、自治基本条例に基づく提案について掲載された広報がありました。新しい形で動きましようということになった時に、こういったことが実現され、皆さんの手元にどういう動きがされてきて、今どういう状態でこうなっているのですということが分かる資料を配布していただけるとよりご理解いただけると思っております。次回から話し合いが進めばいいと思いながら聞かせていただいています。

【登録員N】

去年の2月から参加してちょうど1年が経ち、やっと次回から動くのかという感じがしています。草加に住んで12・3年ですが、まちをよくできることがあればと思ってまちづくり登録員になりましたが、いろんな思いがあり、こういう会議で気づきもあつたし、人との出会いもあつて活動させていただいています。多分、今までの事例を見ていると、市民からの提案というか、市民がどれだけ動くかによって成功しているのではないかという気がします。だから、我々が提案するのですが、どれだけ市民側が行政の手を煩わせないように、理想的にはお金だけを出してもらって自分たちが運用できるような仕組みやまちづくりができた方が

<p>【登録員〇】</p>	<p>うまくいくのではないかと思います。今までの会議を通して聞いていると、入口に立つまでいろいろありましたが、次回からはほんとに動くのではないかとわくわくしているので楽しみにしています。</p> <p>先程、課長からお話があった親水緑道と瀬崎蒲原公園の整備、危険な交差点の改良について実現させていただきました。そういったことをやっていたので、文章的なところを読んで云々というのは非常に弱いもので、なおかつ前回休んだものですから、大変皆さんに申し訳ないのですが、これから少しずつ追いつくように頑張りたいと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
<p>【事務局】 (山崎課長補佐)</p>	<p>皆さん、貴重なお話をいただきありがとうございました。</p> <p>次回の会議は4月21日の午後7時から、平成27年度第1回みんなでまちづくり会議を開催します。今回はテーマ④で進めていきます。事前にご案内をいたしますので、よろしくをお願いします。テーマ④を応募された方と進行役の方には事前に打ち合わせをさせていただきながら準備を進めてまいりますので、ご協力をお願いします。</p> <p>それでは、これをもちまして平成26年度第4回みんなでまちづくり会議を終了します。本日もご出席いただきました皆さま、ありがとうございました。また次回お待ちしておりますのでよろしくお願いいたします。</p>

議事録署名人 押切 次夫

議事録署名人 服部 満生子

平成26年度第4回草加市みんなでまちづくり会議

次 第

平成27年1月28日（水）午後7時～

草加市文化会館第1会議室

1. 開 会

2. 議 事

<議題>

草加市みんなでまちづくり会議の進め方について

3. 閉 会

- (みんなでまちづくり会議)・・・草加市みんなでまちづくり自治基本条例より抜粋
- 第26条 市は、次の事項について市民の参画を実現するため、まちづくり登録員で構成するみんなでまちづくり会議を開催します。
- (1) 前条のまちづくり計画の提案
 - (2) パートナーシップによるまちづくりの政策提言
 - (3) この条例の運用の監視
 - (4) この条例の調査・研究
 - (5) その他この条例に基づくまちづくり
- 2 市は、前項の内容を公表します。
 - 3 市は、みんなでまちづくり会議において提案され、話し合われた事項について、市政に反映するよう努めます。
 - 4 市は、前項の反映結果について公表し、みんなでまちづくり会議で説明をします。
 - 5 みんなでまちづくり会議は、前項の反映結果について納得できない場合は、別に定めるところにより、市議会で意見を述べる機会を求めることができます。
 - 6 市議会は、前項の意思を尊重します。

《草加市みんなでまちづくり会議 応募テーマ一覧（5件）》

テーマ① 「子どもと大人の人権を大切にすまちづくり」

内 容：すべての人の人権が大切にされ、心地よく暮らせる街になるよう、「当事者」の話聞き、立場の異なる人に対する共感を持つことを目指して、「人権」の問題を考える機会（フォーラムなど）を開く。単発的なものではなく、繰り返し、機会を重ねていくこと。子どもと大人が共に学び、認識を深めていけるものであること。「草加市子どもと大人の人権条例」のようなものが出来たら嬉しいと思います。

テーマ② 「首都直下型地震時の老人世帯の避難補助体制の構築」

内 容：現在は、地区民生委員が老人世帯のうち要介護者を主体に名簿を管理していますが、とても民生委員一人で25から50人もの老人の避難を援助できません。具体的な法律も条例もありません。どうしますか？

テーマ③ 「人が健康で楽しさ溢れるエアの町 草加」

内 容：子どもも大人も老人も住んで楽しい美しい町をめざす。自転車ロードを作り、体を鍛え、排気ガスの少ない町をめざす。日本で魁エアの町にする。その横には、花を植え、楽しい美しさを入れる。資源や特徴のない町だからこそ、必要である。まず始めに、河川の道を整備し、草加の町を一周できるようにする。老人の楽しみも増え、介護を受ける人も少なくなり、介護医療費を抑える事になる。

テーマ④ 「地域コミュニティの再生ー安全・安心して暮らせるまちづくりー」

内 容：少子高齢化が喫緊の課題となっています。大所高所の政策・施策は国や県が取り組むべきと考えますが、市民レベルで取り組める課題もあるように思います。それが本会議の目標でもありましょう。そこで、身近な問題として高齢者問題の観点から「地域コミュニティの再生」について考えてみたいと思います。シャッター街商店や空き屋の増加、老人の孤独死など、地域の崩壊が言われています。キーワードを“安全安心して暮らせるまちづくり”として、地域コミュニティ再生のためにはどうすればよいか。退職高齢者の増加（団塊世代）とその活用も視野に入れ、議論できればというのが趣旨です。

(※裏面あり)

テーマ⑤ 「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」

内 容：建築から40年以上経過している「草加市文化会館」「草加市中央公民館」「草加市体育館」等の公共的施設はかなり老朽化しており、耐震性等の安全性の問題、修繕費支出の増加問題、利用する市民の利便性等の観点から、近い将来取り壊しが必要となることが予想される。

現在はそれぞれ別の建物となっているが、これからは総合的複合施設として、多機能のコンプレックスビルとして生まれ変わることが、利用する市民の安全性、草加市の支出費用の合理性、利用者の快適性等の観点から望まれるところである。

どのような機能がその建物に与えられるかも含めて、まちづくり会議のメンバーが建築場所や費用について検討し、実現に向けて提言していきたいと思う。